

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23008	事業名	水道施設停電対策事業		評価分類	B2				
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署				
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計				11:水道事業会計	
	基本施策	03:上下水道の充実				款				資1:資本的支出	
	施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給				項				01:建設改良費	
重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目		01:施設費					
事業期間	R 5 年度 ~ R 6 年度		主な根拠法令等	水道法		部	上下水道部				
課							上水道課 上水道工務G				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市民生活や社会経済活動を支える重要なライフラインである水道施設について、近年の異常気象の頻発化・激甚化する風水害や発生が懸念されている大規模地震に対する施設の強靱化を図り、安定した水道水の供給を確保する必要がある。	水道水の需要者である辺法寺町の住民	災害等による停電時の断水を回避し、辺法寺町の住民に対して、安定した水道水の供給を確保する。	辺法寺加圧ポンプ場に非常用発電設備を新たに設置し、災害等に対する施設の強靱化を図ることにより、停電時においても安定した水道水の供給を確保する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○非常用発電機室建築工事 ○建築工事監理業務委託 ○非常用発電設備設置工事	○テレメータ設置工事			
	活動実績 (計画通り実施できたか)		転用を予定していた既設発電機の故障により、設計変更が必要となり、工事発注に遅れが生じ、繰越した。 【令和6年3月末進捗率】 非常用発電機室建築工事 38% 建築工事監理業務委託 71% 非常用発電設備設置工事 30%	令和5年度から繰越した非常用発電機室建築工事及び非常用発電設備設置工事を完了させた。また、令和6年度に計画していた遠方監視装置設置工事についても予定通り完了させた。 【令和7年3月末進捗状況】 非常用発電機室建築工事 100% 建築工事管理業務委託 100% 非常用発電設備設置工事 100% 遠方監視装置設置工事 100%			
計画額	事業費		82,000千円	14,780千円	11,000千円	78,220千円	
	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		82,000千円	14,780千円	11,000千円	78,220千円	
決算額	事業費			14,780千円		62,168千円	
	国・県支出金			0千円		0千円	
	地方債			0千円		0千円	
	その他			0千円		0千円	
	一般財源			14,780千円		62,168千円	
①期間内計画額(R4-7)		93,000千円	②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額	93,000千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	67,220千円
当年度の最終予算額	11,000千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	水道施設停電対策事業の進捗率	実施済み事業費／総事業費		活動	%	計画値 実績値		88 16	100 100
					計画値 実績値				
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	非常用発電設備の設置が完了し、停電時における施設の強靱化が進み、停電時でも安定した水道水の供給が可能となった。さらに、遠方監視装置の設置も完了し、施設の異常や故障時の状況を迅速に送信できる通信ネットワークが構築され、耐災害性を一層強化することができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
水道水の需要者である辺法寺町の住民	災害等による停電時の断水を回避し、辺法寺町の住民に対して、安定した水道水の供給を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定			C	A
事業展開			継続(現状維持)	完了	

1次評価者	上下水道部 上水道課 上水道工務GL 直江 宏紀
最終評価者	上下水道部 上水道課長 高沢 直